

実践的で学術的価値の高い各学校のカリキュラム冊子を復刻!!

【日本現代史シリーズ 8】

# 戦後初期コア・カリキュラム 研究資料集

第2回配本 西日本編 全3巻

- 編集・解題 金馬国晴(横浜国立大学教授)/安井一郎(獨協大学教授)
- 体裁: B5判・上製 約1,900頁 ISBN978-4-908823-60-2 C3337
- 定価: 本体 90,000円+税



クロスカルチャー出版

## 【日本現代史シリーズ 8】 戦後教育史研究の必携資料 戦後初期コア・カリキュラム 研究資料集 第2回配本 西日本編 全3巻

- 編集・解題 金馬国晴(横浜国立大学教授)/安井一郎(獨協大学教授)
- 体裁 B5判・上製 約1,900頁 ISBN978-4-908823-60-2 C3337
- 定価 本体 90,000円+税
- 巻構成  
第4巻 解題、資料リスト、近畿1(滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山)  
第5巻 近畿2(兵庫)  
第6巻 中国・四国、九州

●おすすめ先: 教育学、教育史、教育社会学、教育行政学の研究者等。大学図書館、公共図書館。

好評既刊【日本現代史シリーズ】

【日本現代史シリーズ1】

福島原発設置反対運動裁判資料 第1回配本 全3巻  
 ●編集・解説 安田純治(弁護士)/解題 澤 正宏(福島大学名誉教授)  
 ●体裁 B5判・上製・総約2,400頁 ●定価 本体150,000円+税 ISBN978-4-905388-44-9 C3332  
 【東京電力株式会社の公有水面埋立免許申請に係る福島県知事の免許についての審査請求書】  
 【公有水面埋立免許取消請求事件 訴状】【福島第2原子力発電所原子炉設置許可取消請求事件 最終準備書面】、福島地方裁判所判決他収録。

【日本現代史シリーズ2】

福島原発設置反対運動裁判資料 第2回配本 全4巻・別冊  
 ●解説 安田純治(弁護士)/編集・解説 澤 正宏(福島大学名誉教授)  
 ●体裁 B5判・上製・総約1,700頁 ●定価 本体88,000円+税 ISBN978-4-905388-53-1 C3332  
 原告、下級労働者に関する基礎調査、訴訟資料、被告、原子力委員会、東京電力、福島県などの資料他収録。

【日本現代史シリーズ3】

伊方原発設置反対運動裁判資料 第1回配本 全4巻・別冊  
 ●解説 藤田一良(弁護士)/編集・解説 澤 正宏(福島大学名誉教授)  
 ●体裁 B5判・上製・総約3,500頁 ●定価 本体180,000円+税 ISBN978-4-905388-58-6 C3332  
 ●伊方原発行政訴訟【資料1】【資料2】【資料3】、伊方発電所原子炉設置許可処分取消請求事件 準備書面、伊方原子力発電所裁判証書記録、伊方発電所原子炉設置許可処分取消請求事件判決他収録。

【日本現代史シリーズ4】

伊方原発設置反対運動裁判資料 第2回配本 全3巻・別冊  
 ●編集・解説 澤 正宏(福島大学名誉教授)  
 ●体裁 B5判・上製・総約1,700頁 ●定価 本体90,000円+税 ISBN978-4-905388-58-6-1 C3332  
 ●上告理由書、上告理由補充書(三)[「加圧水型原発の終焉」準備書面—スリーマイル島原子力発電所の事故は人類滅亡への道を指し示す、最高裁、最高裁裁判部分、別冊に詳細な伊方原発関連年表を収録。

クロスカルチャー出版  
学術出版

〒101-0064 東京都千代田区神田錦糸町 2-7-6  
TEL: 03-5577-6707 FAX: 03-5577-6708  
http://crosscul.com

取扱書店

【日本現代史シリーズ5】 戦後教育改革の空白を埋める貴重な資料!

## 教育刷新委員会総会 配布資料集全3巻

- 解題 高橋寛人(横浜市立大学教授) ●定価 本体 90,000円+税
  - 体裁 B5判・上製・約1,700頁 ISBN978-4-908823-05-3 C3337
- 戦後教育改革を研究するには、教育刷新委員会の検討が不可欠である。教育刷新委員会での審議録は、「教育刷新委員会・教育刷新審議会会議録」全13巻(岩波書店)として刊行されているが、会議での配布資料は収録されていない!  
 本書「教育刷新委員会総会配布資料集」では、教育刷新委員会の第1回~第80回総会(1946年9月7日~1948年10月15日)に配布された資料を収録。

【日本現代史シリーズ6】

## 教育刷新審議会 配布資料集全4巻

- 解題 井深雄二(大阪体育大学教授・奈良教育大学名誉教授)
- 体裁 B5判・上製 約2,000頁 ●定価 本体 120,000円+税

「教育刷新委員会総会配布資料集」(全3巻 2016年6月刊)に続き、本書「教育刷新審議会配布資料集」で教育刷新委員会・教育刷新審議会関係の現存する資料をほとんど全部復刻。  
 昭和24年6月~昭和27年6月までの簿冊「教育刷新審議会配布資料等」全5冊と付録の簿冊「教育刷新審議会」1冊を収録。戦後教育改革の理念の生成を知る上での第一級資料が完結。

岩波版「教育刷新委員会・教育刷新審議会会議録」(全13巻)を補完する教育史研究者必携資料。

●推薦します 東京大学・桜美林大学・立教大学名誉教授 寺崎昌男

【日本現代史シリーズ7】 戦後教育史研究の必携資料

## 戦後初期コア・カリキュラム 研究資料集 第1回配本 東日本編 全3巻

- 編集・解題 金馬国晴(横浜国立大学教授)/安井一郎(獨協大学教授)
- 体裁 B5判・上製 約2,000頁 ●定価 本体 90,000円+税

ISBN978-4-908823-38-1 C3337

●巻構成

- 第1巻 解題、資料リスト、北海道・東北・北関東
- 第2巻 東京・南関東
- 第3巻 北陸・甲信越・東海

先駆的な試みのコア・カリキュラム、多彩な計画、独創的な図表など当時の教師たちの熱意や希望が冊子に結実!!

刊行にあたって

金馬国晴（横浜国立大学教授）

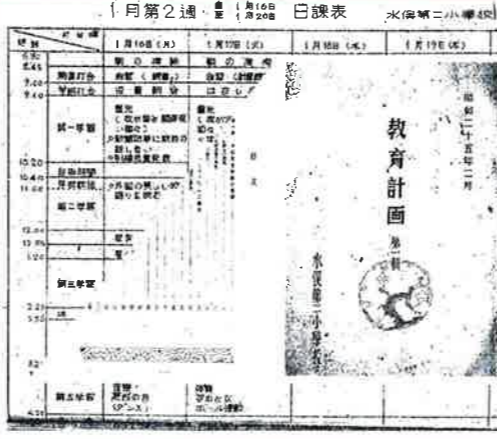
コア・カリキュラムは、日本の教育史に必ず登場する理論であり、実践運動です。とはいえず、先行研究や解説書におけるその詳細は高くなく、児童中心主義、はいまわる継続主義、学力低下の元凶といった批判がくり返されてきました。

本書はそうした思いから、1200冊を超える冊子より厳選した約130冊からの抜粋を併録しております。なお、附属学校については第3回配本、および中学校については第4回配本として編集します。

内容見本



先駆的な試みのコア・カリキュラム。今や一冊しか残らない冊子の抜粋で、教職課程コアカリキュラムとは違う各校の多彩な模索と表現を明らかに！



▲水保市立水保二小学校「教育計画 第一編」(第6巻)より

▲下関市立松山小学校「生活学習研究 松山教育プラン」(第6巻)より

推薦します



「戦後初期コア・カリキュラム研究資料集」を推薦します

筑波大学助教授 山口 満

コア・カリキュラムは、戦後初期における民主主義教育の理念に立つ教育改革運動において、その先駆となる重要な役割を果たした。その理論と実践は日本のカリキュラム改革の歴史の中に然らざるべからず、現在の地点からも、示唆に富む貴重な知見を提示し、また、魅力的な内容をも有している。

現在、我が国の教育界では、教育研究における理論と実践の往還を図り、その成果に基づいて、実践的な指導力を育む教員養成の改革や教師教育の高度化を図ることが重要な課題となっている。「戦後初期コア・カリキュラム研究資料集」がこうした教育研究を教員養成、教師教育の課題に的確に応えることが出来る重要な研究資料としての役割として広く活用されることを期待し、推薦する次第である。

コア・カリキュラムとその運動の歴史的背景を、主に、以下の五つの点に求められる。「研究資料集」に所収されている特色ある実践論的分析や考察を通して、これらの点について具体的に検討し、その成果や限界、問題点の所在を突き止めて、これらに就いた課題を明らかにすることが、カリキュラム改革のための理論的、実践的研究に未来への道を拓くことになる。

- 一、「三層四領域」論に見られるように、カリキュラムの全体構造の在り方を考えるための視点と実践の形態を明らかにした。
二、「日常生活課程」の実践課程の理論と実践の形態を示し、「教科外活動」や「特別活動」の本質に関する示唆を与えた。
三、研究者と実践者との協働によるカリキュラム開発研究のモデルを示した。
四、地域の色や学校の特色に対応した特色ある、個性的なカリキュラム開発を行った。
五、「問題解決学習」の理論を支える実践的なカリキュラム形態を開発した。

収録内容一覧(抜粋)

第4巻 近畿1(昭和23~31年)
【福井】 大津市立中央小学校「中央学芸会」(昭和23年)
【宮城】 仙台市立陸奥小学校「研究報告」(昭和24年)
【大阪】 大阪市立常盤小学校「本校教育の発展」(昭和23年)
【徳島】 徳島市立徳島小学校「本校教育の発展」(昭和23年)
【和歌山】 和歌山市立立上小学校「本校教育の発展」(昭和23年)
第5巻 近畿2(昭和22・29年)
【兵庫】 兵庫県立教育研究所「兵庫県カリキュラム研究資料集」
【徳島】 徳島市立徳島小学校「本校教育の発展」(昭和29年)
第6巻 中国・四国・九州(昭和23・28年)
【鳥取】 鳥取市立鳥取小学校「本校教育の発展」(昭和23年)
【岡山】 岡山市立岡山小学校「本校教育の発展」(昭和23年)
【広島】 広島市立広島小学校「本校教育の発展」(昭和23年)
【山口】 下関市立松山小学校「松山教育プラン」(昭和23年)
【徳島】 徳島市立徳島小学校「本校教育の発展」(昭和28年)
【香川】 高松市立高松小学校「本校教育の発展」(昭和28年)
【高知】 高知市立高知小学校「本校教育の発展」(昭和28年)
【福岡】 福岡市立福岡小学校「本校教育の発展」(昭和28年)

【コア・カリキュラム】
カリキュラムにコア(中心、中核)を設け、そこを生活活動を広げ深めることを目的とする中心課程に、その手段(道具、用具)として必要となつた教科の技能、態度、知識を教える周辺課程を、有機的に関連させた総合的なカリキュラム。これは戦後初期、1948年～1950年代前半にかけて、全国各地の学校(特に小学校)と教師のうちに、カリキュラム・ブームを巻き起こす契機となつたものである。【現代教育方法事典】2004年、ぎょうせい

特色

- 1 戦後新教育期にコア・カリキュラムや三層四領域を作成した小学校、その記要・冊子などの理論編と単元の具体例から抜粋。
2 先行研究の無い学校の、今や一冊しか発見できない希少な冊子から、今日的な意義もあるページを中心を選定。
3 カリキュラム・マネジメント、横断的カリキュラム、総合的な学習・生活科、習得→活用→探究、アクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)などに示唆大。教職課程コアカリキュラムとの違いが際立ってわかる。